

【総領事館からのお知らせ：I S I L 声明への注意喚起】

●イスラム過激派組織 I S I L がラマダン期間中のテロを呼びかける声明を発出しています。ラマダン期間中および断食明け大祭（レバラン）を含め、安全確保に十分注意を払ってください。

バリ州、NTB州、NTT州にお住まいの皆様へ

平成29年6月14日(総17第11号)

在デンパサール日本国総領事館

1 6月12日、イスラム過激派組織 I S I L（イラク・レバントのイスラム国）は、ラマダン期間中のテロを呼びかける声明を発出しました。I S I L は、2015年及び2016年にも同様の声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、過去2年、ラマダン月に多数のテロ事件が発生しています。

今年についてもラマダン開始後、多数のテロが発生しており、そのうちイラン、仏、オーストラリア、英国、フィリピン等での事件については、必ずしも関与は明確ではないものの、I S I L が犯行を主張しています。

2 これを受け、6月13日、日本外務省より以前発出された海外安全情報(広域情報)「ラマダン月のテロについての注意喚起」が更新されました。

詳細については下記ホームページのとおりですので、是非ご一読いただき、ラマダン期間中および断食明け大祭（レバラン）を含め、引き続きテロへの警戒を怠らないようにしてください。

インドネシアでも、5月24日、東ジャカルタ市 Kampung Melayu バスターミナルで自爆テロが発生し、警察官3人が死亡していますので、引き続き最新情報の入手に努め、安全確保に十分注意を払ってください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_20170133.html